食農教育事業

食の大切さ、食を支える農業の大切さを育てることから知ってもらおうと、10月8日に能代市立渟城西小学校5年生80人を対象に、サツマイモ・ねぎの収穫体験を行いました。

年4回行われる体験学習も、この日で最終日を迎え、春に植え付けたサツマイモやねぎなどが大きく生長した姿を見ると、児童たちは歓声を上げていました。佐々木部長やJA女性部員から収穫の方法を教えてもらい、丁寧に収穫作業を行いました。収穫したサツマイモはその場で焼き芋がJA女性部から振舞われました。児童たちからは、「春からの体験作業をして、農業の大変さと収穫のうれしさ両方を知ることができました。大きいサツマイモもとれたし、太いねぎもできていてとてもおいしそうでした。これからは苦手な野菜も食べるようにしたいです。」といった感想が聞かれました。

この農業体験でまとめたものは、能代市で行われた産業フェアと男鹿市で開催された第137回秋田県種苗交換会の学校農園展へ出され、収穫した作物も一緒に出品されました。

→大きく成長したねぎににっこり

←収穫したその場で焼き芋をつくりました

藤里町民祭

藤里町の文化と収穫を楽しむ、2014町民祭「白神のふるさとまつり」が10月25日と26日の2日間にわたって開催されました。今年は国民文化祭の記念イベント、きりえの祭典も同時に開催されており、町内外から多くの人が来場し大盛況となりました。

JAあきた白神女性部藤里支部では、地場産野菜をAコープ商品で調理した「白神ねぎサラダ」、「らっきょう酢の漬物」、「かぼちゃのプリン」の試食販売をし、地産地消運動をPRしました。美味しい匂いに誘われて、女性部コーナーには人が列をなし、用意した料理はあっという間に完食となりました。また、白神ねぎサラダに使用した『ぶどうのオイルドレッシング』が大好評で完売となりました。料理を食べた人からは「手軽に作れるので家でも試したいと思います。素材の味もしっかり生きていて、とても美味しかったです！」と喜んでいました。また、藤里営農センターは白神和牛を販売し、町民祭を共に盛り上げました。

→行列のできた女性部試食コーナー前

←「かぼちゃのプリン」

←「白神ねぎサラダ」と「らっきょう酢の漬物」